

学習指導要領		スタンダード「基礎」	スタンダード「応用」
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ① 英語による簡単な指示や基礎的な発問が聞き取り、理解することができる。 ② 会話文などにおける基本的な定型表現（挨拶、道案内など）を聞いて理解できる。 ③ 語の発音の特徴や、基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ抑揚の変動）を捉えて聞ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 5～6文のややまとまった長さの文章について、情報や考え、事実と意見を区別し、整理し聞ける。 ② 英語による指示や言い換えられた文章を聞いて理解できる。 ③ リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、音のつながりや欠落に注意しながら的確に聞ける。
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 英和辞典の正しい使用。200～300語程度の教科書の文章を読んで、概要や要点が捉えられる。 ② 教科書の文章の単語の発音に気を付けて、聞き手に伝わるように音読できる。 ③ 教科書の文章を読んで、つながりを示す語句に注意しながら、英語の論理展開を理解する。 ④ 教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーティング・センテンスの関係を理解する。 ⑤ 身近な話題（例えばスポーツ、文化など）についての文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自発的に英和辞典を活用。300～600語程度の教科書の文章を読み、概要や要点が捉えられる。 ② 教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に伝わるように明瞭に音読できる。 ③ 教科書の文章を読んで、つながりを示す語句に注意しながら、英語の論理展開を理解する。 ④ 教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーティング・センテンスの関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。 ⑤ 幅広い話題（例えば異文化理解、環境問題など）についての文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ① 200～300語程度の教科書の文章の内容理解。簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO又は単語や語句を用いて答えられる。 ② 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることにつ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 300～600語程度の教科書の文章の内容理解。英語の質問を聞いて、文章で答えられる。 ② 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用

学習指導要領		スタンダード「基礎」	スタンダード「応用」
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	<p>いて、ワークシートやメモなどを利用して、英語で相手に伝えられる。</p> <p>③ ペアやグループで、身近な話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換ができる。</p> <p>④ うまく言えないことがあっても、簡単な表現やジェスチャーなどを用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。</p> <p>⑤ 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</p> <p>① 既習の語句や表現、文法事項を活用。学んだことや経験したことに基づき、身近な話題について20語程度の文章が書ける。</p> <p>② 教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、20語程度で感想や意見が書ける。</p> <p>③ 教科書の文章のキーワードやトピック・センテンスを書き出せる。</p> <p>④ 作文における基本的な知識を身に付け、自分の考えや意見を伝えることができる。</p> <p>⑤ 自分で書いた文章を読み直し、語句や文法などの誤りを正して、読み手に分かりやすい文章を書ける。</p> <p>⑥ 和英辞典だけでなく、英和辞書などを活用して書く。</p>	<p>して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手に伝えられる。</p> <p>④ ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換ができる。</p> <p>⑤ 多少英語の間違いがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。</p> <p>⑥ 日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</p> <p>① 既習の語句や表現、文法事項を活用。学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について40語程度の文章が書ける。</p> <p>② 教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、40語程度で感想や意見が書ける。</p> <p>③ トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を適切に用いて文章が書ける。</p> <p>④ 英作文の知識を身に付け、その場面に応じた適切な表現で自分の考えや意見を伝えることができる。</p> <p>⑤ 自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、語句や文法などの誤りを正したりして、読み手に分かりやすい文章を書ける。</p> <p>⑥ 和英辞典だけでなく、英和辞書などを積極的に活用して書く。</p>